



水土里情報システムと台帳システムとの連携について紹介します。

(1/2)

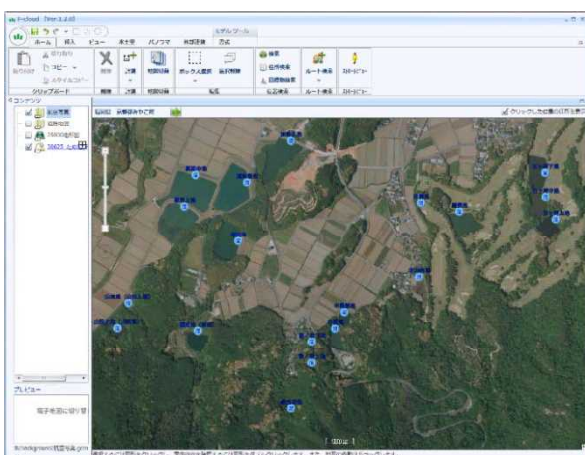
今回紹介する団体： 県内市町村、水土里ネット福岡

取組概要

内容： 農業用水利施設及び農道等の台帳情報の一元化を図り、水土里情報システム(WebGIS)と連携が行える仕組みを構築

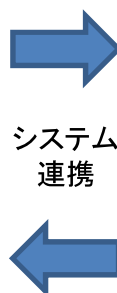
- 経緯：① 農業用水利施設及び農道台帳がペーパー管理であり、システム化されていないため、情報の一元化ができていない。また、既存システムがあった場合においても、GISと親和性がない。
- ② 水土里情報システム(WebGIS)と台帳システム(ローカルデータ)とのシステム連携が図られ、データの更新を容易にする仕組みを検討。
- ③ 水土里情報システムでは視覚的・空間的な情報を、台帳システム側は、データの入力・帳票の出力等、システムの役割を分担する方法を採用。
- ④ 水土里情報システムと台帳システムがシステム連携できる仕組みを構築。
- ⑤ ④に伴い、システムを連携させるツールを開発。

システム画面

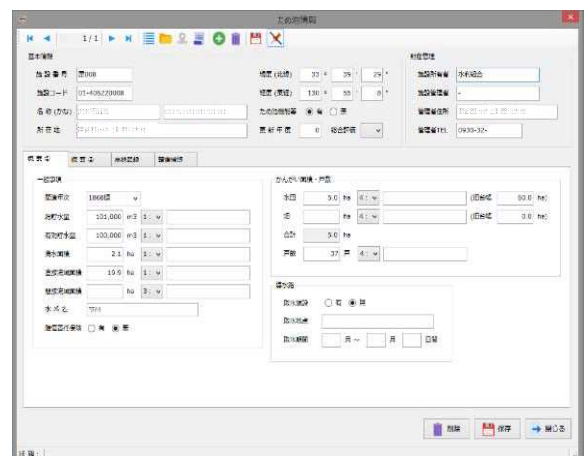


【水土里情報システム(WebGIS)】

位置・エリア・路線の情報を視覚的に取得



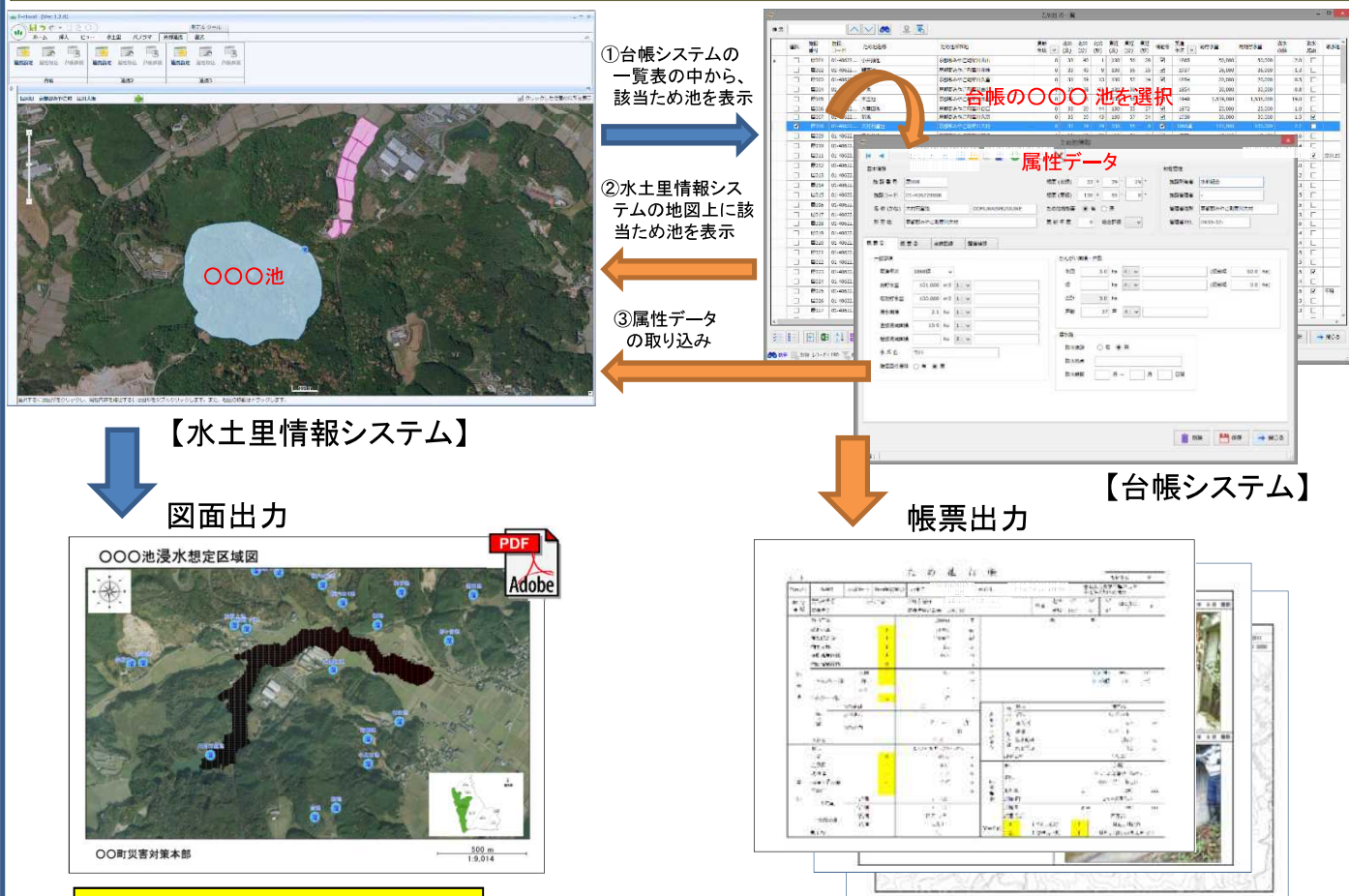
システム
連携



【台帳システム】

台帳情報の入力・帳票の出力

- システム連携
- ① 水土里情報システムの地図上からため池を選択し、「台帳連携ボタン」を押すと、台帳システムのため池一覧の中から、該当ため池が抽出・選択される。
 - ② 台帳システムの一覧表からため池を選択し、「水土里情報システム連携ボタン」を押すと、水土里情報システムの地図上に該当ため池が抽出・表示される。
 - ③ 水土里情報システム側の「属性情報取り込みボタン」を押すと、台帳システム側の属性情報が取り込まれる。



期待される効果

- ① 台帳を主体として属性情報を管理することで、水土里情報システムと台帳のスムーズな連携が図られる。
- ② 台帳データに変更があった場合、水土里情報システムにデータの取り込み（更新）が簡単にできる。
- ③ 水土里システムと台帳システムがもつ特有の機能を使途に応じて使い分けることで、日常管理・災害時の管理等の問合せに対し、迅速に対応ができる。

今後の活用予定

市町村が保有する各台帳データを整備し、水土里情報システムとの連携ができる仕組みを活かし、情報の一元化を図りつつ、平常時の管理、災害時の管理等で水土里情報システムが利活用できるよう推進する。

■お問い合わせ先

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課 092-642-1893(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2212(直通)